

文化部舞台発表会

7月19日(月)に、文化部舞台発表会を実施しました。今年度は文化祭の発表を、部門別に日程を分けて実施することになりました。今回は、三味線部、吹奏楽部、理科部の3つの部が、練習や研究の成果を発表しました。一生懸命に取り組む姿は素晴らしく、多くの生徒の心に響いたようです。1学期最終日に思い出に残る一日となりました。



校長室より 瀬川 眞也

令和3年度 後期に向けて

令和3年度もいよいよ後期に入ります。前期は、そのほとんどが緊急事態宣言の中での生活でした。様々な行事が中止や延期となり、残念な思いをしている生徒も多いかと思いますが、そんな学校生活においても、自分の目標に向かって一步一步確実に歩みを進めることのできた人、なかなか思い通りに物事が運ばず、悩みが多かった人など、さまざまだったことでしょう。しかし、今経験していることは、どんなことでも必ずみなさんの力になっています。みなさんは、4月とは違う自分に確実に成長しています。

東アフリカのことわざにこんな言葉があります。

「道に迷うことこそ道を知ることだ。」

たとえば、数学の問題を解いているときに、わからないながらも自分なりに苦勞して解いたときは、その答えがあっても間違っている、その問題の解き方は身に付くことが多いと思います。試行錯誤を繰り返しながら身に付けていったものは、知識であれ、技術であれ、何でも自分の力となり、自分の人生を生きていく基礎力となります。失敗をしないように十分な準備をすることは大切ですが、道に迷うこと、失敗することを恐れずに前へ進んでいくことも大切です。

緊急事態宣言も解除されるようで、少しほっとするところもありますが、引き続き基本的な感染症対策はきちんと行うことが大切です。そして、自分の状況を冷静に見つめ、どんな試練にぶつかっても地道に自分なりの努力を重ねていくことで、新たな自分になっていきます。みなさんにとって、充実した後期となっていくことを期待しています。

飛翔

第164号

令和3年9月29日(水)

発行

台東区立浅草中学校

〒111-0051

台東区蔵前 1-3-4

TEL 03(3866)5169

HP

<https://taito.ed.jp/sw/as/index.php?id=132>

0115



生徒会役員選挙

9月13日(月)の6時間目に、生徒会役員選挙を行いました。後期から1、2年生が役員となり、学校の代表として活動します。今年もビデオでの演説となりましたが、立候補者と応援演説者の真剣で堂々とした表情や、熱心な演説が印象的でした。今後の活躍を期待しています。



表彰

男子バレーボール部

関東大会5位で全国大会出場!

吹奏楽部

東京都吹奏楽コンクールA組 銀賞入賞!

★今月号も引き続き、引退を迎えた3年生の部長から、感想や後輩に向けたメッセージをもらいました!

男子バレー部

長年先輩方が目指していた関東大会を目標に1年生の頃から努力してきました。関東大会では茨城県1位に競り勝ち、全国大会出場を決めました。全国大会は強豪がぶつかり合う素晴らしい夢のような場所でした。大舞台で100%の力を出せたので楽しかったです。沢山の方々の応援に感謝の気持ちで一杯です。後輩にもバレー部の伝統を引き継いで欲しいです。

剣道部

剣道部を2年半やってきた中で、とても大切だと思えることが2つあります。1つ目は初心を忘れないことです。後輩の皆さんは現在、技を磨いている最中であると思いますが、もし途中で行き詰ったら初心に戻ってみてください。そうすると欠点が見つかるはずですよ。次に「凡事徹底」です。学校生活において、生活態度や提出物など当たり前のことを徹底すべきだと思います。後輩の皆さんには、この2つの事を忘れずに、日々の練習に取り組んで下さい。

吹奏楽部

私が吹奏楽部で学んだことは、互いに支え合って1つの目標に向かうことの大切さです。1人1人がそれぞれの目標をもつと同時に、全員で1つの目標に向かったことで、どんな結果も自分にとって大きな思い出になりました。

1、2年生は、コロナ禍で合奏があまりできないなか、新人戦など今までより大変だと思います。こんな時だからこそ、お互いに支え合い、1つの目標に向かってこれからも頑張ってください。

1 学年より

生徒会選挙が行われました。1年生からは3名の生徒が立候補をしました。演説会まで約2週間と短い期間ではありましたが、生徒会で頑張りたいことなど立派に話すことができました。新型コロナウイルスの影響で、例年行われるような選挙活動を行うことができませんでしたが、選挙期間中は毎朝、昇降口に立って挨拶運動を行いました。投票では、実際の選挙で使用されている、投票箱、記載台を使って行いました。初めての体験に緊張している様子もありました。

2 学年より

夏休みが終わり、3階フロアに活気あふれる声に戻ってきました。授業や学校生活の中で、困っている子がいると自然に声をかけあう姿、互いに協力しあう姿など、優しさが垣間見える場面が多くみられます。学校説明会の際、体育館の準備を有志で募ると、早く登校していた50人近い生徒がすぐに手伝ってくれました。緊急事態宣言下で常に様々なことが変化していく状況ですが、常に前を向いて、できることに精一杯取り組んでいる姿が素晴らしいです。

3 学年より

「辛かったと言える夏休みにしよう」という言葉で、締めくくった1学期。2学期の始めに生徒に聞くと、多くの生徒が「本当に勉強辛かったです」「勉強頑張りました」と口にし、受験生としての夏休みを過ごしたことがわかりました。また、授業での真剣な眼差しから、2学期は1学期以上の気迫を感じます。この2学期は、様々な行事も予定されています。勉強に忙しい中ですが、最上級生として、立派な姿を後輩に示してほしいと思います。

十月の浅中しぐさ



仁義礼智信

9月が終わろうとしている。学校では6カ月が過ぎて、前期終了を迎える時期である。中学校でも多くの変化を迎える。この時期は以前にも述べたが3つのC、Chance(チャンス・好機)Challenge(チャレンジ・挑戦)Change(チェンジ・変化)の時期である。

生徒会・委員会では中心が2年生から3年生へ変わり、1年生も新入生から1年生へと移り変わる。変化の時期であり、新たなメンバーで挑戦してほしい。新たに選ばれた生徒会役員にも、委員にも、また3年生にもまだまだ学校の看板として頑張ってもらいたい。

また秋は収穫の時期でもある。春に芽吹き夏の日差しを受けて大きく成長して、多くの栄養を蓄えたものが秋の収穫物となる。3年生の皆さんはこの夏、コロナ禍の中だけで自分の力を伸ばせたでしょうか。また部活動では、夏の暑さの中練習に励んだ成果が表れる時期です。様々な学習活動が制限されるなかでも、一人ひとりが自らの力をいろいろな面で伸ばしてほしいと思います。そしてこの秋、多くの成長を感じられるときにしてほしいと思います。

最後に、本校では9月をエールウィークとして生徒の頑張りや認める期間としました。デイリーライブでの言葉の交換などを捉え、夏休みの頑張り、新学期の頑張りを取り上げてきました。これからも生徒の良い面を取り上げて評価していきたいと考えています。新型コロナなどいつにもまして閉塞感の出るこの頃、ぜひご家庭でもよい面の評価をしてあげてください。